

女性 はもっと 活躍 できる！

～より企業を元気に、男女とも人生を豊かに～



講師 岩田 喜美枝 さん

公益財団法人 21 世紀職業財団 会長
内閣府 男女共同参画会 議議員

講師略歴

香川県高松市出身、東京大学教養学部卒、労働省(当時)入省

2003年 厚生労働省雇用均等・児童家庭局長を最後に退官

2003年 株式会社資生堂入社

2008年 同社代表取締役副社長

2012年7月 同社顧問

2012年3月 キリンホールディングス株式会社社外監査役(現在)

2012年7月 日本航空株式会社社外取締役(現在)

2012年7月 公益財団法人 21 世紀職業財団 会長(現在)

平成 27 年 8 月 27 日(木)、公益財団法人 21 世紀職業財団 会長の岩田喜美枝さんをお迎えして、公開講座を開催しました。

国をあげて取り組んでいる「女性の活躍推進」について、管理職や働く男女それぞれが取り組むべき課題を具体的にお話しいただきました。

参加者の皆さんそれぞれが、自分の人生や働き方について考えるよい機会になりました。



講演会の内容の一部をご紹介します

「女性の活躍推進」が必要である理由を豊富なデータをもとにお話しただきました。「働いている女性は多いが完全には活躍できていない」「女性の活躍推進には仕事の継続（育児等との両立）とキャリアアップ（育成・登用）の2つの柱が重要」と語られました。

続いて、女性が活躍するためには1時間当たりの労働生産性を高めて、残業がない会社にする企業の働き方改革がまず必要。その具体的な方法として次の5つをあげられました。

- ① 業務の廃止・・・すべての階層で仕事の棚卸し・選択と集中
- ② 業務プロセスの簡素化・・・決裁権限を下ろす・会議の持ち方・資料作成の簡素化
- ③ 社員の時間意識の変革・・・ノー残業デー
- ④ 仕事の配分や社員の配置の見直し
- ⑤ 社員一人ひとりの能力アップ

最後に、管理職・男性・女性などそれぞれの立場におけるアドバイスをいただきました。

管理職の皆さんへは「部下に対して活躍してほしいという期待を伝えることが大切」

男性の皆さんへは「家庭責任をしっかりと担い、会社以外の場で活動し個性を磨く。そのためには、生産性の高い働き方を実現し、定時退社を当たり前にすることが大切」

女性の皆さんへは「キャリアづくりをあせらない。難しい仕事、異動は成長のチャンス。出産を先延ばしにしない。育児・介護・夫の転勤などの理由で退職しない。夢をあきらめない。次の世代の女性達の力になることが大切」と語られました。

アンケートより

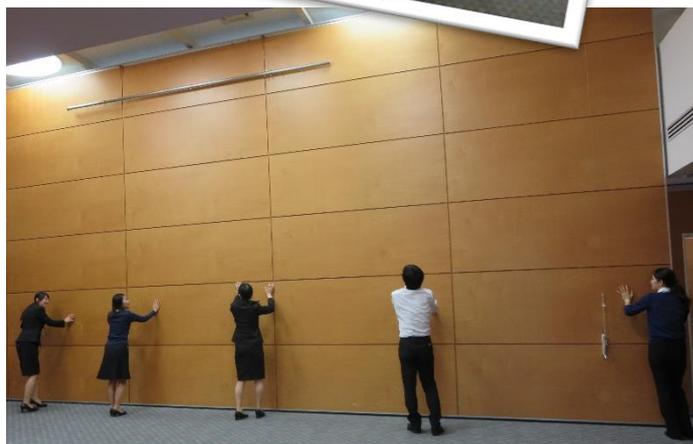
当日は 130 名の方にご参加いただきました。
今回は 6 割の方が働いている方々でした。
社内研修の一環としてご参加いただいた方も多数
いらっしゃいました。

● 部下や新人育成のヒントになった
背中を押されたようで涙が出そうだった
(30代・女性)

● 心の中の叫びをすべて代弁していただいた気がした。女性ばかりもっと働けと言われているような気がしていたが、仕事の質をあげる、男性の働き方も変えるということにとっても納得した
(40代・女性)

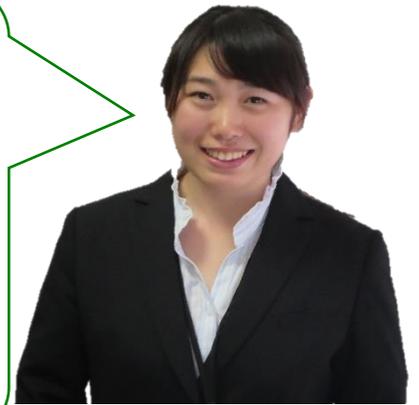
● 男女を問わず心に響くきめ細やかな
アドバイスだった。夢を語れる講師のお話をこれからも提供をお願いします
(40代・男性)

コムズで研修中のインターンシップ生
5名が、準備から受付までスタッフとして活躍しました！



インターンシップの学生さんの講演会に参加しての感想を掲載します。

私はまだ就職・結婚・育児などを体験したことがないので、今回の講演は母の体験談と重ね合わせて聴きました。日本の企業における女性の地位の低さやステレオタイプな役割に苦しんでいる女性がまだ多数おり、なおかつその苦しみを声にすることができずに心の中にとどめていることも感じさせられました。だからこそ、企業における女性の活躍推進と、それをサポートする環境を整えることが今後の課題だと考えました。最後に岩田さんからいただいたメッセージに感銘を受け、私も積極的に、逃げずに社会進出をしていき、自分自身のキャリアを磨きたいと考えを改めることができました。そして、女性として生まれてきたことを誇りに思える日が来たらいいなと思いました。



小笠原さん



河端さん

最初、育児と仕事を両立する話や、女性はフルタイムで働いた方が良いという話を聞いた時は、今の日本の社会の現状を考えるとそんな事は思っても現実にはできないだろうし、まるで夢のような話だと思いました。しかし、その後の話で、「育児で残業できないことを会社に申し訳ないと思う必要はない。定時退社を当たり前にしよう」といった言葉を聞いた時に、自分が勝手にできないと思い込んでいただけかもしれないと感じました。やってもいないのにできないと言うことをやめよう、これから社会に出ても、遠慮などせずにいようと思いました。最後のアドバイスも、20代の若い世代の男女にぜひ聞いてほしいものでした。私はこの講演を聞いたことで、不安でしかなかった就活にも自信が持てるようになりました。後で残念だと思う人生は歩まない、むしろこれからが楽しみだとも思えるようになりました。

「仕事を続けられる女性はごく一部である」私はそう思っていました。しかし、今回、岩田喜美枝さんのお話を聞いて、女性の活躍が今こそ社会に必要なのだと思うことができました。私は今まで、働きたいがずっと続けられるのか、結婚や出産の時、一度は辞めなければならないのではと不安に思っていました。しかし、一番効率の良い働き方をするのは、子どものいる女性であると聞き、驚きました。時間をうまく使えるのなら、辞める必要がないと思えることができました。もっと女性が活躍できるようになったとき、必要とされる人間になっていられるように、目の前のことを精一杯果たしたいと考えています。これからの自分にとってためになるお話を聞くことができました。



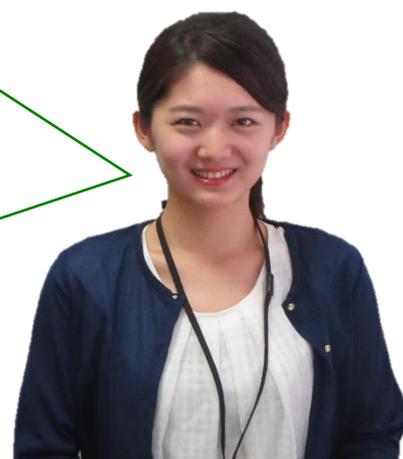
高橋さん



船津さん

私は今回岩田さんのお話を聞いて、日本や世界の状況を知ることができました。大学で学んでいることと近いこともあり、とても考えさせられるものでした。これから就職活動をしていく私にとって、お話に出てきた「多様性」は身につけたい力となりました。他人の意見を受け入れることや自分の発想を多彩に変化させていくことはとても難しいことだと思います。しかし身につけていくことができたならば、自分のライフスタイルが変わったときに大きな力となります。女性が活躍するためには、もちろん国や企業の努力も必要不可欠であると考えます。しかし、女性自身も努力し続けることが大切なのではないか、成長することをあきらめてはならないのではないかと感じました。これからは、私自身努力し、成長するチャンスを掴んでいきたいです。

今回この講演を聞いて、私自身女性として、今後「働く」ことについて考える機会となりました。女性は出産・育児・家事・介護と大忙しです。その中で女性がキャリアアップし、活躍するには企業の努力はもちろん、女性側の覚悟も必要であるのだと学びました。難しい仕事を任された時「逃げない強さ」が大切です。これから私たち世代がそういった「逃げない姿」を次の世代に見せていくことで、今後の女性の「働く」ことへの意識が変わってくるのではないかと思います。女性が活躍できる新しい時代の風に乗遅れることのないよう、そして苦しい時には声を出してまわりの人に頼る勇気を活力として、女性のキャリアアップが普通である時代を私たちの世代で作上げていきたい、作っていきけるのだという希望と大きな勇気を与えてくれる講演となりました。



和田さん

